

新泉・和泉地区

和泉中学校 新泉小学校 和泉小学校



小中一貫教育 ニュースレター

拓き・高め・繋がる
小中一貫教育

未来への確かな力と 夢を育む小中一貫教育

「未来への確かな力と夢を育む小中一貫教育」
～小中一貫教育校への移行に向けた教育課程の編成と連携、3校の交流と質の向上と充実～という方針で平成25年度は新泉小、和泉小、和泉中の3校の教員が力を合わせ、小中一貫教育に取り組んできました。重点目標は

- ①新校の教育計画の作成
- ②学習案内の見直し
- ③和泉手習い塾の拡充(月1回小学生向け)
- ④体力向上事業(走り方教室)です。

新泉・和泉地区の小中一貫教育は、9年目を迎えました。今年度は和泉中学校の校庭で校舎建設のための工事も始まり、目に見える部分でも小中一貫教育の動きが始まりました。これからも質の高い授業・温かなふれあい・豊かな学校生活を目指した小中一貫教育を3校の教職員が力を合わせて進めていきます。



vol.21.22

国語部会

目指す児童・生徒像

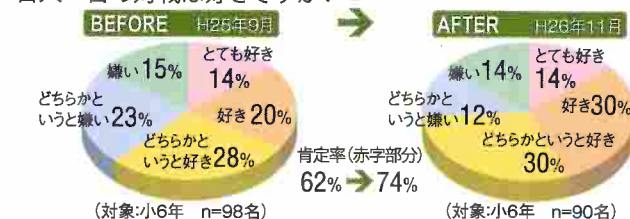
- 読んだことをもとに自分の考えを深める。
- 自分の意見を表現できる。
- 読む楽しさを実感し、自己の生き方を向上させることができる。

取り組み

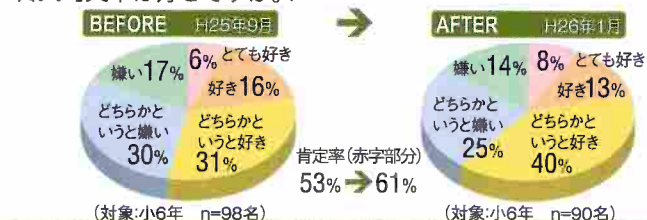
- 学習案内にて、中1の年間指導計画を作成し、小6との系統的なつながりを明記しました。
- 「おすすめ本リスト」にて、レベル別の100冊をさらに精選しました。学年にこだわらず、関心や興味に応じて読み進められるようにしました。また、特におすすめする本を2冊ずつ選びました。
- 古典を中心とした連携や百人一首大会等の今後の在り方について、検討を重ねました。

アンケート項目

百人一首の対戦は好きですか？



古典的文章は好きですか？



成果

- 小学校の低学年のうちから百人一首の暗唱に取り組み、親しんでいるため、高学年での百人一首のときに札をとれてうれしい、という体験ができました。自信をもって楽しく活動することが積み重なり、古典への興味とつながっています。
- 小学校のうちから百人一首などの昔の言葉にふれる機会を多くすることで、古典的な言葉を知り、古典への興味が広がっています。昔の人の気持ちを理解し、更に学習したいという意欲が古典的な文章が好きという児童、生徒に多く見られます。

課題

- 古典的な文章があまり好きではないという児童、生徒には、やはり表現が難しい、覚えにくい、わかりにくい、などの理由で嫌いだという人が多い。今後、更に分かりやすく学習内容を工夫する必要がある。
- 興味がない、という理由で、古典的な文章が嫌いだ、という児童、生徒もいる。百人一首大会を中心にそれ以外のところでも興味を引きつける活動を計画していきたい。



百人一首大会

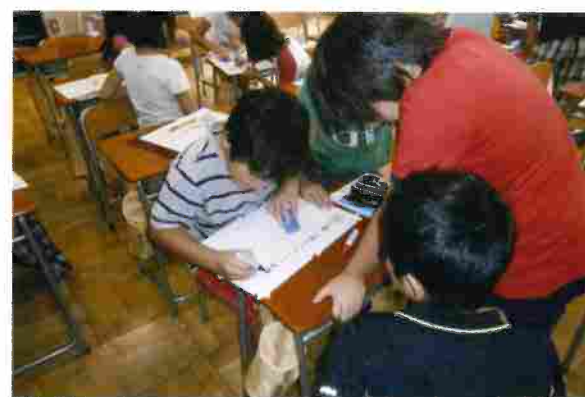
算数・数学部会

目指す児童・生徒像

- 数量や図形についての基礎的・基本的な力を身に付けている。
- 思考力・表現力を高め、論理的に問題解決を図る力を身に付けている。

取り組み

- 復習確認テストや定期考査(中学校)で定着度を確認し、間違えた問題をやり直すことを徹底しました。
- 小中において問題解決型の授業を行いました。
- 中学校数学体験授業を行いました。(小学6年生参加)
- 個に応じたきめ細かな指導を少人数授業を通して行いました。
- いろいろな方法で問題を解くような場を設定し、自分で考える時間を多くとりました。



授業の風景

成果

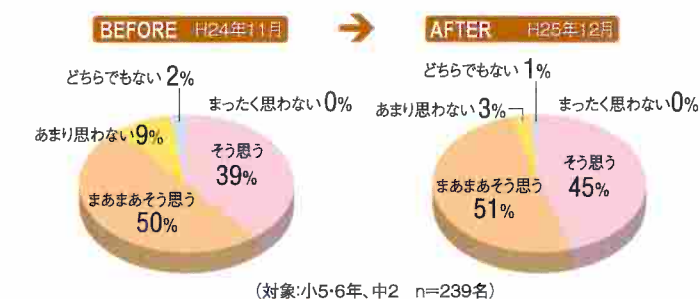
- 間違えた問題をやり直すことで、わかったという声が増え、基礎・基本が定着してきました。
- 自分が発表したり、他の生徒に説明したりすることで、さらに理解が深まりました。
- 他の生徒の発表や説明を聞くことで、さらに理解が深まりました。

課題

- 分かったという達成感をさらに味わわせること。
- 小中学校教員の協働授業の機会を増やしていくこと。

アンケート項目

問題を解くときは、いろいろな方法で考えるようにしている。



社会部会

目指す児童・生徒像

- 社会科の授業に関心をもち、意欲的に調べることができる。
- 各種の資料を活用し、より広い視野から思考・判断し、適切に表現できる。
- 地図・地球儀や年表などの資料を活用し、情報を集めて読み取ることができる。

取り組み

- 小学校4年生での地図導入学習において、中学校教員による授業を実施しました。(9月)
- 中学校では、レポートによる発表で、より広い視野から思考・判断し、表現できる力を伸ばしました。
- 中学で活用できる都道府県ノート、歴史人物ノートを小学5・6年生で作成し、資料を活用した授業に取り組みました。



中学校教員による「地図の授業」
～和泉中にて

生徒の声

今度、家族でどこかへ行く時は地図帳を持って行きたいと思います。(4年生)



成果

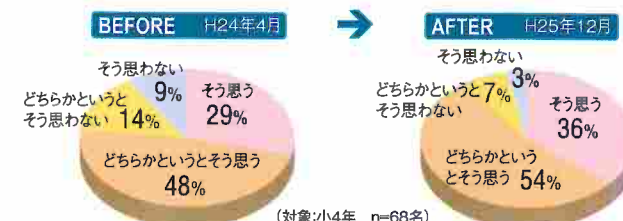
- 児童が調べてみたくなるような課題を、意図的に設定することにより、自ら進んで調べようとする児童が増えました。
- グループで学び合う活動を取り入れることにより、意欲的に調べる力を育成することができました。

課題

- グループ学習において、みんなの意見をまとめて、発表できる児童・生徒を育成すること。

アンケート項目

写真やグラフなどの資料からは、いろいろなことを発見できると思いますか？



生徒の声

等高線を何度も書いたことがあります。だけど、一番上が平らになってしまっ、どうしたら上手にかけられるか考えていました。先生に教えてもらって、地図から山の形がイメージできるようになりました。本当にうれしかったです。(4年生)

理科部会

目指す児童・生徒像

- 自然現象に知的好奇心や探究心をもって親しむことができる。
- 目的意識をもって観察や実験を行うことができる。
- 実験観察の中で、結果から考察し表現する力を付ける。

取り組み

- 小中をリンクした単元構成を意識して指導計画を作成しました。
- 実験観察を主体とした授業を実施しました。
- 予想→実験→結果→考察のプロセスを大切に授業を行いました。
- 夏休みおもしろ実験教室を実施しました。



おもしろ実験教室

成果

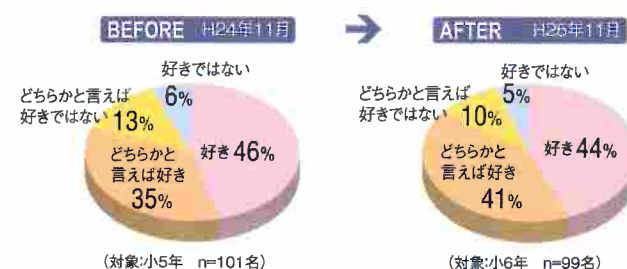
- 指導計画作りを通して、小中の連続性を意識して学習内容の単元構成を把握することができました。
- 実験観察の授業を大切にすることで、理科の授業を好きになる児童・生徒が増えました。
- 結果から考察する過程を大切にすることにより、科学的な現象を自分で考えることができるようになってきました。

課題

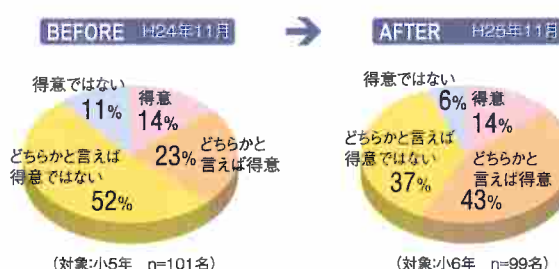
- 小中一貫教育を意識した一連の学習の流れ「課題設定→予想・仮説の立案→実験・観察による検証→考察」の習慣化を一層図り、科学的な思考力をより高めていくこと。

アンケート項目

理科の授業は好きですか？



実験結果をもとに、自分なりに考えることができますか？



音楽部会

目指す児童・生徒像

- 様々な音楽に興味・関心をもち、豊かに表現できる。
- 音楽の基礎・基本を身に付け、それを活用できる。

取り組み

【1学期】

- 小中の授業の一部を小中の教員がTTで進めました。また、小小でもTTの授業交流をしました。

【2学期】

- 9月の地域主催行事「さざんかフェスタ」では3校の合唱団が発表するとともに、合同で「ふるさと」を合唱しました。
- 「和泉合唱コンクール」で小学校の音楽科教員も審査に加わりました。
- 「杉並合唱フェスティバル」で新泉小と和泉中の合同合唱団が演奏をしました。



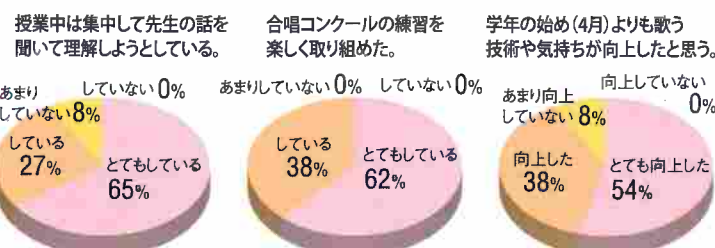
合唱部活動体験

【3学期】

- 卒業式に向けて三校の音楽専科教員での教材研究や、指導上の協働を行いました。

アンケート項目

平成25年11月（対象：中学1年 n=26名）



成果

- 今年で4年目となる小中でのTT授業により児童理解を深めるとともに、専門性を生かした授業を展開することができました。
- 和泉小6年生の音楽科指導に中学校音楽科教員が入り、中学校につながる発声指導を行い自信をもって歌える環境づくりができました。TTで行うことでパート練習がスムーズに行われ、音程をしっかりと取り中学校の混声合唱につながる指導を行うことができました。
- 新泉小と和泉中の合唱団交流で、12月に行われた「杉並合唱フェスティバル」に参加しました。合唱団交流は毎年続けていますが、小学生が懸命に歌う姿と中学生の部活動として日々トレーニングしている歌に対する姿勢は、双方の合唱団にとって大きな影響を受けやすい機会となりました。
- 中学校合唱コンクールでの教員間の協働は小中一貫教育校としての見通しをもつために大変有効でした。

課題

- 読譜力、音楽の基礎基本については、小中それぞれの授業で工夫を重ね授業に生かしているところです。さらに教員間での協働を通して研究を重ねていきたい。

体育部会

目指す児童・生徒像

- 進んで運動に取り組むことができる。
- 自分の課題に応じたためあてをもって運動を選び取り組むことができる。
- 生涯にわたり健康の保持・増進を目指し運動を豊かに実践する。

取り組み

- 学習案内の作成
平成27年度の運動会を春に行われることになるので、それに伴った形で内容を変更しました。
- 中学校体育教員との連携
昨年度の課題から、年間を通して中学校の体育教員と連携を取るようにしました。3、4年生では体づくりをはじめ、短距離走やリレーで技能面の指導を強化しました。
- 指導方法の充実
昨年度のめあて学習を土台として、今年度は2年生のゲーム領域で指導の充実を図るために3校で学習計画を作りました。



成果

- 運動する場の工夫や得点をしやすくすることでシュートゲームを楽しむ児童の割合が増えました。
- 中学教員の専門的な指導により技能面を伸ばすことができました。



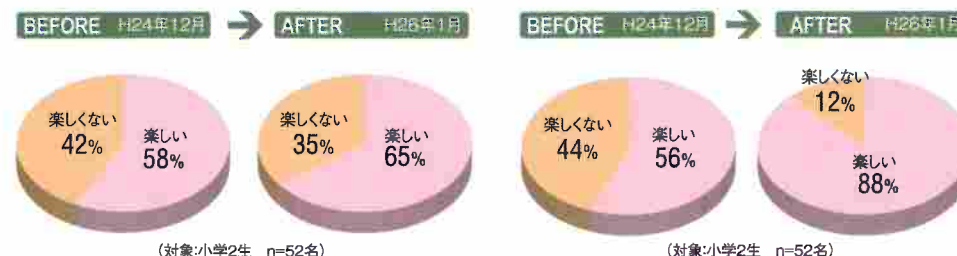
課題

- 3、4年のゲーム領域でも指導の方法を確認し合い、高学年、中学校のボール運動へと学習内容を充実させることが課題である。

アンケート項目

ボールゲームは楽しいですか？

シュートゲームは楽しいですか？



図画工作・美術 技術・家庭科部会

目指す児童・生徒像

- 主体的に課題に取り組むことができる。
- 色や形のよさを実感し、それらを活用することができる。
- 造形活動の中で、自分の考えや思いを表現できる。

取り組み

- 図画工作・美術で定期的な教員の交流を実施しました。
- 和泉中学校で授業体験を実施しました。
- 和泉中学校の文化発表会では、新泉小学校・仲よし学級の児童作品を展示し、交流を行いました。



授業の様子

成果

- 中学校での授業体験では、新泉小での中学校教員とのTTの効果もあり、多くの児童が美術の授業を選択する等、興味・関心が高まりました。
- 学習案内づくりを通して、小中学校の連続性を意識して、単元構成を把握することができました。

課題

- 図画工作のアンケートの結果から「進んで自分の作品づくりをしようとしていますか」という項目は、小中ともに消極的な考えが多いこと。基礎的な技能の定着を図るとともに、幅広い経験を重ね、表現方法の選択・決定できる力をさらに伸ばしていく。
- 小・中学校の教育課程において、見通しをもつことができるように、お互いに授業交流の機会をつくる。

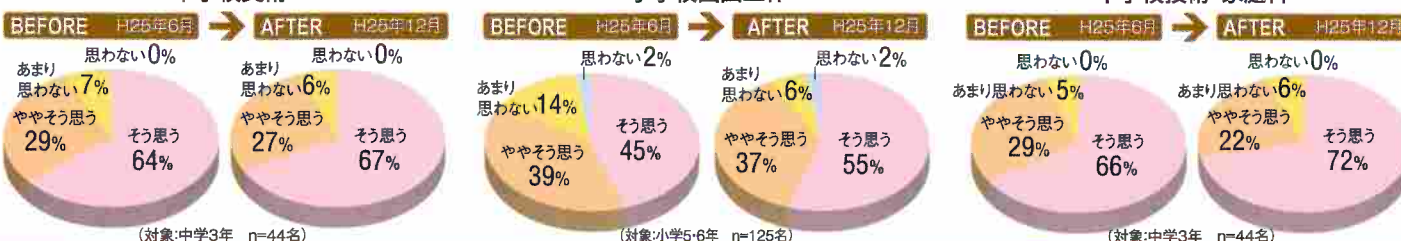
アンケート項目

進んで自分の作品づくりをしようとしていますか？

中学校美術

小学校図画工作

中学校技術・家庭科



英語部会

目指す児童・生徒像

- コミュニケーションを目的として英語を運用することができる基礎力をもつ。
- 外国語を通じて、我が国や外国の言語や文化を理解することができる。

取り組み

- 中学校英語科教員が、新泉小の5、6年生の英語活動でJETとしてティームティーチングで授業を行いました。
- 中学校英語科教員が、新泉小学校の英語集会に参加しました。
- 小学校英語活動でのEnglish LeaderやAll Englishを生かして中学校全学年の授業を行いました。



新泉小学校
ハロウィン集会

成果

- 小学校6年間の英語活動の積み重ねが中学校の英語に対しての意欲や自信となっています。
- 学習案内やカリキュラムの作成によって、小学校から中学校への9年間の見通しをもつことができました。

課題

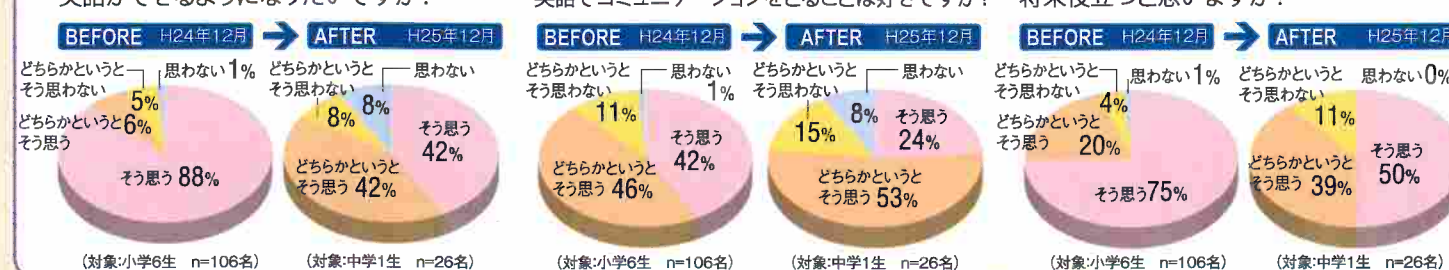
- 全教員が9年間の見通しをもって、授業づくりを行えるようにお互いの授業を見合い、さらに小中の授業交流の機会を作っていく必要がある。
- 小学校で英語に慣れ親しんだ児童たちが中学校に入学し、英語を話したり聞いたりすることだけではなく、英語を読んだり書いたりすることに意欲をもって取り組めるように授業を工夫する必要がある。

アンケート項目

英語ができるようになりたいですか？

英語でコミュニケーションをとることは好きですか？

将来役立つと思いますか？



第7回 新泉小・和泉小・和泉中保護者への意識調査結果

保護者の皆様に向けて、今年度も意識調査を行いました。自由意見欄にいただいたご意見を、紙面の都合上、一部抜粋して掲載いたしました。ありがとうございました。

第7回アンケート 25年12月実施 n=226人

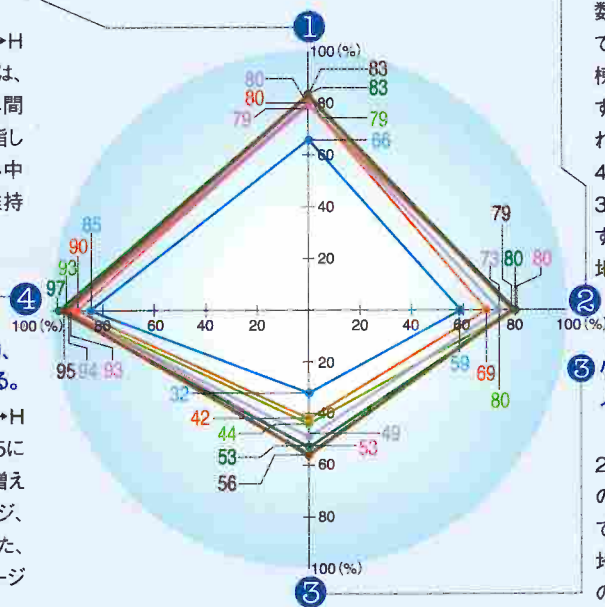
① 新泉・和泉地区の小中一貫教育の意義や内容について理解している。

過去3年間の全体の肯定率が、H23:80%→H24:82%→H25:83%と増えました。小中一貫教育は、小学校と中学校が協力や連携することで、9年間の一貫した質の高い授業、質の高い教育を目指しています。「杉並区教育ビジョン2012」でも、小中一貫教育は重点目標になっています。6・3制を維持しながら、様々な教育課題に対応していきます。

④ 小中一貫教育の情報は、学校公開や印刷物、ホームページを通して、ご家庭に届いている。

過去3年間の全体の肯定率は、H23:93%→H24:96%→H25:95%となりました。H24からH25に数値が下がりましたが、肯定する全体の人数は増えています。今後も各校の学校だよりやホームページ、ニュースレター等で情報をお伝えしていきます。また、設置協議会の情報は、教育委員会のホームページに掲載されていますのでご覧ください。

● H25年12月 ● H24年12月 ● H24年6月 ● H23年12月 ● H23年6月 ● H22年12月 ● H22年6月
■ 4段階評価 4:そう思う 3:ややそう思う 2:あまりそう思わない 1:そう思わない ※評価できない、わからないときは「わからない」を選択



② 施設一体型小中一貫教育校に期待をもっている。

過去3年間の全体の肯定率は、H23:73%→H24:79%→H25:79%となりました。H24からH25に数値が下がりましたが、肯定する全体の人数は増えています。現在の和泉中の校庭に新校舎(小学校棟)を建築し、既存の中学校も大幅に改修を行います。また、特別支援学級は小学部と中学部が設置されます。小学部の普通学級は低学年・中学年が学年4クラス対応、高学年は3クラス対応、中学部は学年3クラス対応です。校庭は約3000㎡程度を芝生化する計画です。H26年4月から和泉中は新泉小の敷地に移転します。

③ 小中一貫教育のよさ(学力向上・豊かな人間性・進路保障)が実感できている。

過去3年間の全体の肯定率が、H23:49%→H24:53%→H25:56%と増えました。小中一貫教育の最大のメリットは、小中の教員が学び合いによって、質の高い授業を提供し、子どもたちが学びの素地を作ることができることです。学びの素地は自分の夢を実現するための力となります。小学1年生の憧れを中学3年生の進路に繋げる。それが、小中一貫教育の進路保障です。

保護者のコメント

保護者の中には、不安材料を抱えている方もいますが、新校に生まれ変わること、地域の活性化に繋がってほしいと思います。

学校独自の伝統的な企画やイベントなど一貫教育校がスタートした時、どの様になるかが見えてきません。たとえばぼんぼん祭りや親子マラソン、合唱コンクール(中)など。

新しくできる一貫校には特別支援学級もありますが、現在ない和泉中には、その実際の内容が、あまり伝わってきていません。

特色などは伝わっているが、具体例や他での実情等がわかりやすく情報提供があれば、子どもや家族、地域、学校とのコミュニケーションがよりプラスになり、かわかりやすくなります。

今年の和泉中は素晴らしいです。生徒一人ひとりに目をかけてくれ保護者と先生方の距離も近く親しみあふれる学校です。一貫教育校でも和泉中の良さが続くことを願っています。卒業後も気軽に寄れる学校になっていったらうれしいです。

小小共有行事を増やし、子ども達の交流が楽しいものとなり、スムーズに統合してほしい。一貫教育のよさを実感できるよう現在の問題点をわかりやすく伝えてほしい。

小中一貫教育校への理解が深まっていると言われると始まってみたいとわからないというのが正直な気持ちです。保護者や子ども達の中にも、意識の高まりが広がってきているのは感じます。

小学校の1~6年生のかかわり、小学校・中学校の学校全体としての子どものかかわりが日常的にあるといいなと思います。

特支援学級については希望より不安の方が大きい。環境の変化に対応することが難しい子ども達にとって小中一貫教育がどのように働かわかりません。地域の人たちや新しい児童・生徒・保護者に特支学級の子供達が受け入れられるか心配です。

小中一貫に関するニュースは欠かさず読んでいますが、内容への理解が深まっていると言われると実感感がわきません。小小、小中交流などを通して、子ども達や親の間に意識の高まりは出来ていると思います。

お知らせ

■ 小中一貫教育報告会の開催について

日時: 2月12日(水) 午後2時から3時45分
会場: 和泉中学校視聴覚室

内容: 研究の報告

講師: 済美教育センター 統括指導主事
出町 桜一郎先生



新泉・和泉
小中一貫教育

杉並区立 和泉中学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-14
tel.03-3322-7671 fax.03-3322-3574
url.<http://www.suginami-school.ed.jp/izumichu/>

杉並区立 新泉小学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉1-44-26
tel.03-3322-4251 fax.03-3322-2761
url.<http://www.suginami-school.ed.jp/shinsenshou/>

杉並区立 和泉小学校

〒168-0063 東京都杉並区和泉2-17-21
tel.03-3322-4254 fax.03-3322-8336
url.<http://izel.sakura.ne.jp/izumi/>

小中一貫教育ニュースホームページ

<http://www.suginami-school.ed.jp/shinsen-izumi/>